

2 置換

演習 2.1 次の置換を巡回表示せよ.

$$(i) \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 \\ 3 & 1 & 4 & 2 \end{pmatrix}$$

$$(ii) \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 & 5 \\ 5 & 4 & 3 & 1 & 2 \end{pmatrix}$$

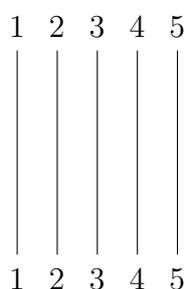
$$(iii) \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 & 5 & 6 \\ 6 & 5 & 4 & 3 & 2 & 1 \end{pmatrix}$$

$$(iv) (1, 2, 3) \circ (1, 2) \circ (1, 3)$$

$$(v) (2, 3) \circ (3, 1) \circ (3, 2)$$

$$(vi) (1, 3, 4) \circ (2, 3) \circ (1, 5)$$

演習 2.2 次の図に適当に横線を入れてあみだくじを (3つ) 作り, (i)~(iii) の置換と一致するようにせよ.



$$(i) (4, 5) \circ (3, 4) \circ (2, 3) \circ (1, 2)$$

$$(ii) (1, 4) \circ (2, 3) \circ (1, 2)$$

$$(iii) \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 & 5 \\ 3 & 5 & 2 & 1 & 4 \end{pmatrix}$$

※時間が余った人は, 次も考えてみてください. 時間内に解けなかった人も, 次回の授業までに解いて皆の前で発表してもらってもよいです. (それぞれ取り組み具合に応じて加点します.)

演習 2.3 対称群 S_n ($n \geq 2$) の任意の置換は $(i, i+1)$ ($i = 1, \dots, n-1$) という形の互換の積で書けることを証明せよ.

[注意] これは教科書の定理 3.3 (任意の置換が互換の積で書ける) よりも強い主張です (使える互換に限られるため). 例えば $(1, 3, 2)$ という置換を考えてみると, 定理 3.3 ならば $(1, 3, 2) = (1, 3) \circ (3, 2)$ と書ければ良かったのが, この問題の場合, 互換 $(1, 3)$ が $(i, i+1)$ という形をしていないため不十分で, $(1, 3, 2) = (1, 2) \circ (2, 3) \circ (1, 2) \circ (2, 3)$ のように書けることを言わないといけないわけです.